

Active is:

アリアンツ・グローバル・
インベスターズ

2019年3月



Value. Shared.

Allianz 
Global Investors

アリアンツ 資産運用部門

01

Active is: 価値を創造し、共有すること



私たちが掲げている、最も大切なキーワードである「Active is」。

「Active is」という言葉は、私たちがいかにお客様と共に価値を創造し、共有すべきかを示すスローガンです。アリアンツGIは、お客様に何かを売ることではなく、パートナーとして、ともに問題を解決し、経済的な利益だけではなく、付加価値を創造していきたいと考えています。そのために、革新的な投資ノウハウとグローバルなリソースを活用して投資をしています。お客様がどこにいても、そしてどのようなニーズにも対応できる、優れたサービスを提供することを目標としています。

Active is: アリアンツ・グローバル・インベスターズ

アクティブ運用のリーディングカンパニー



運用資産額 5,000億ユーロ超

運用プロフェッショナル数 730名超*

世界に24拠点

アリアンツSEの基本データ



強固で安定した親会社



1890年から引き継がれている歴史

安定したバランスシート

多様化されたビジネス

アリアンツの組織体制



各中核事業において世界的な地位にある

世界最大級¹の
損害保険会社

世界トップ5¹の
資産運用会社



P I M C O

世界トップ5の
生命保険会社¹

125年以上の長い歴史:

- 顧客資産の保全
- リスクに留意した手法による資産運用
- 革新的なソリューションを顧客に提供

アリアンツ・グローバル・インベスターズ

- 世界に24拠点を有するグローバルなプレゼンス
- 顧客の需要に合わせた運用戦略とソリューション
- 63兆円の運用資産残高²

¹ 2018年8月6日時点の情報に基づくデータ。ランキングは将来の動向を示唆するものではなく、随時変更されることがあります。

² 2018年12月末時点の運用資産。数値は2018年12月末の為替レート(1ユーロ=125.4207円)を使用して計算しています。

出所: AllianzGI。

沿革 —1世紀を超えるアリアンツの歴史—

アリアンツの歴史

資産運用部門の歴史

アリアンツ保険株式会社(損害保険業)がベルリン本社で営業開始

ベルリン証券取引所に株式上場

本社をベルリンからミュンヘンへ移転

持株会社のアリアンツAGを設立

ニューヨーク証券取引所に株式上場

ドレスナー銀行グループを買収

アリアンツAGからアリアンツSEへ転換

ドレスナー銀行グループをコメルツ銀行に売却

1890

1895

1949

1985

2000

2001

2004

2006

2009

2012

2016

2017

米国のピムコグループ、NFJ、オッペンハイマー・キャピタルを買収

RCM、dit and dbiを傘下に抱えるドレスナー・アセット・マネジメント・グループおよび米国ニコラス・アップルゲートを買収し、アリアンツ・ドレスナー・アセット・マネジメントに統合

アリアンツ・ドレスナー・アセット・マネジメントがアリアンツ・グローバル・インベスターズに名称変更

コメルツ銀行の資産運用部門コムインベストを取得し統合

ピムコ以外をアリアンツ・グローバル・インベスターズのブランドの下に統一

債券に特化した運用会社であるロゲ・グローバル・パートナーズを買収

米国プライベート・デットを運用するサウンド・ハーバー・パートナーズを買収

コロンビア・スレッドニードル・インベストメンツより債券運用チームを統合

アリアンツのロゴマーク

1890年～



- アリアンツ・グループの最初のロゴマークは、ドイツのカタジロワシ(imperial eagle)をイメージして創られたもので、カタジロワシは、企業創設の地であるミュンヘン・ベルリンの紋章を身につけていました。

1923年～



- カタジロワシはカール・シュルピによって作成されたアリアンツ・イーグルに変更されました。さまざまな試行錯誤の末、「A」の文字をモチーフに図案化されたワシが採用され、3羽の子ワシは子会社を表していました。
- アリアンツ・イーグルは「Allianz Konzern」への社名変更と同時に、積極的な合併方針のシンボルとして使われるようになりました。

1977年～



- アリアンツ・イーグルは、より現代的に生まれ変わります。
- ハンス・イヨルク・ドーシェルによって周囲に円が加えられました。これは、社内外への一貫した企業イメージのアピールを狙ったものでした。

1999年～



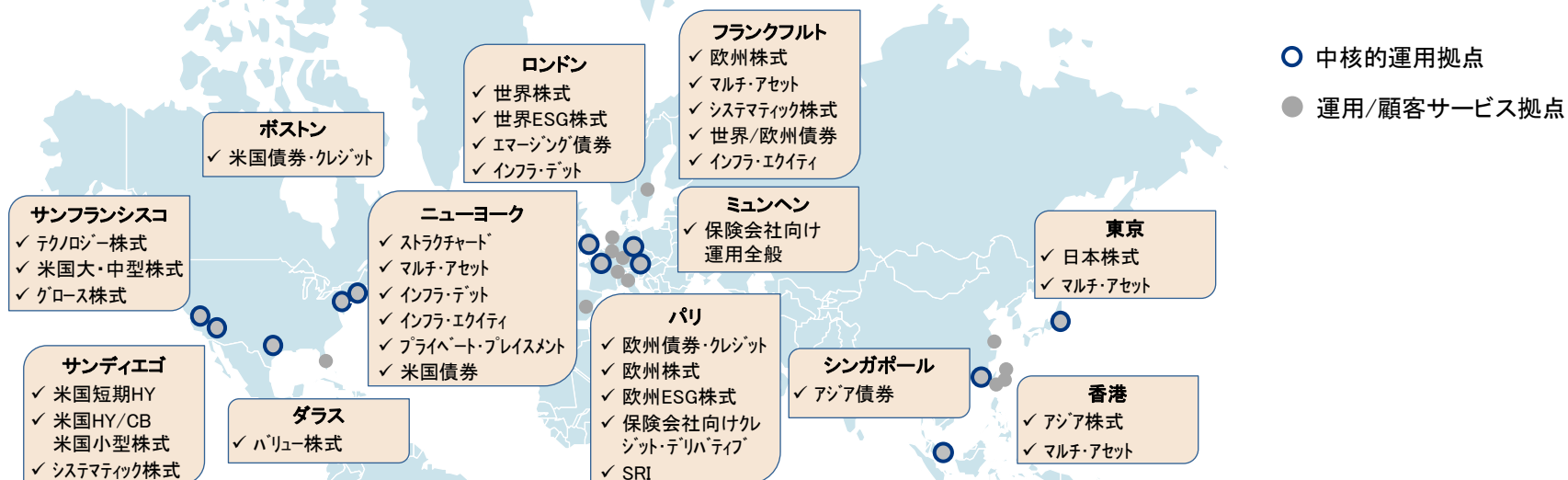
- そしていま、アリアンツ・グループは伝統と現代性の2つの要素を備えた新しいロゴマークとともに、次なる時代をむかえています。
- 新しい考え方にもとづいて作成された新ロゴマークは、伝統であるワシを想起させるとともに、現在のアリアンツ・グループが展開する事業の3つの柱「生命保険部門(Provision)、損害保険部門(Protection)、資産運用部門(Performance)」を表しています。

アリアンツ・
グローバル・
インベスターズ

02

グローバルの運用/顧客サービス拠点

アメリカ・ボストン・ダラス・マイアミ・ニューヨーク・サンディエゴ・サンフランシスコ ヨーロッパ・ブリュッセル・フランクフルト・ロンドン・ルクセンブルク・マドリード・ミラノ・ミュンヘン・パリ・ロッテルダム・ストックホルム・チューリッヒ アジア太平洋・香港・高雄・上海・シンガポール・シドニー・台中・台北・東京



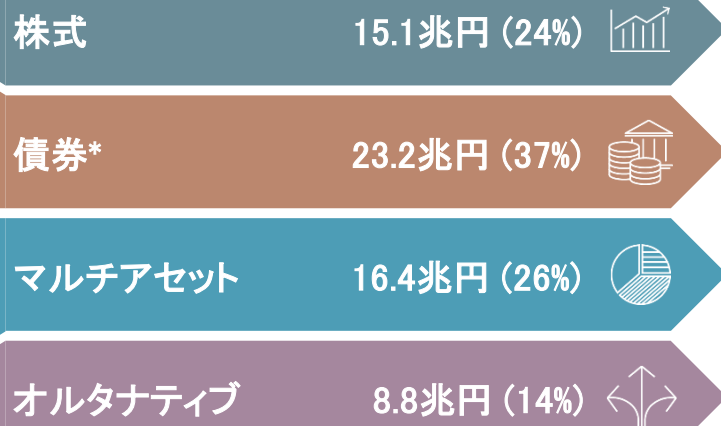
	アメリカ	ヨーロッパ	アジア太平洋	合計
拠点	6	11	8	25
リレーションシップ・マネージャー (営業 ¹ およびアカウント・マネジメント ²)	144	351	198	693
運用プロフェッショナル	191	457	130	778

2019年3月末時点のデータ。記載している戦略名称は全体のうち一部です。

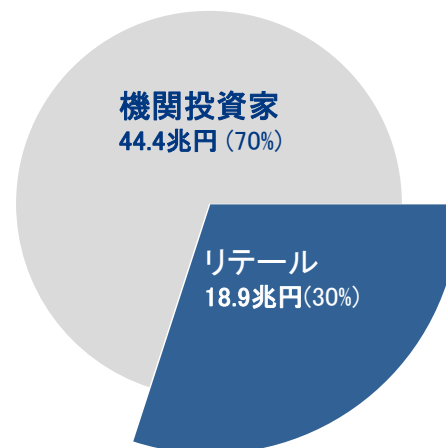
出所: AllianzGI。 ¹新規顧客担当。 ²既往顧客アカウントサービス担当

資産クラス別運用資産残高

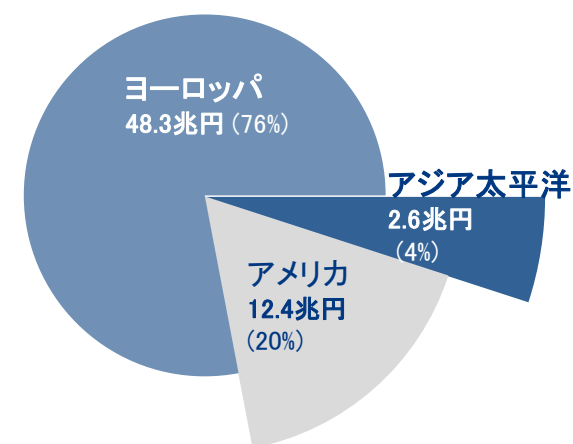
運用資産額: 約63兆円



顧客タイプ別



地域別**



アクティブ運用にフォーカス



広範囲の資産クラス

幅広い運用スタイル

リスク管理の文化

2018年12月31日時点のデータ。出所: AllianzGI。合計額の差は四捨五入によるものです。数値は2018年12月末の為替レート(1ユーロ=125.4207円)を使用して計算しています。

*マネーマーケットを含む **運用地域別

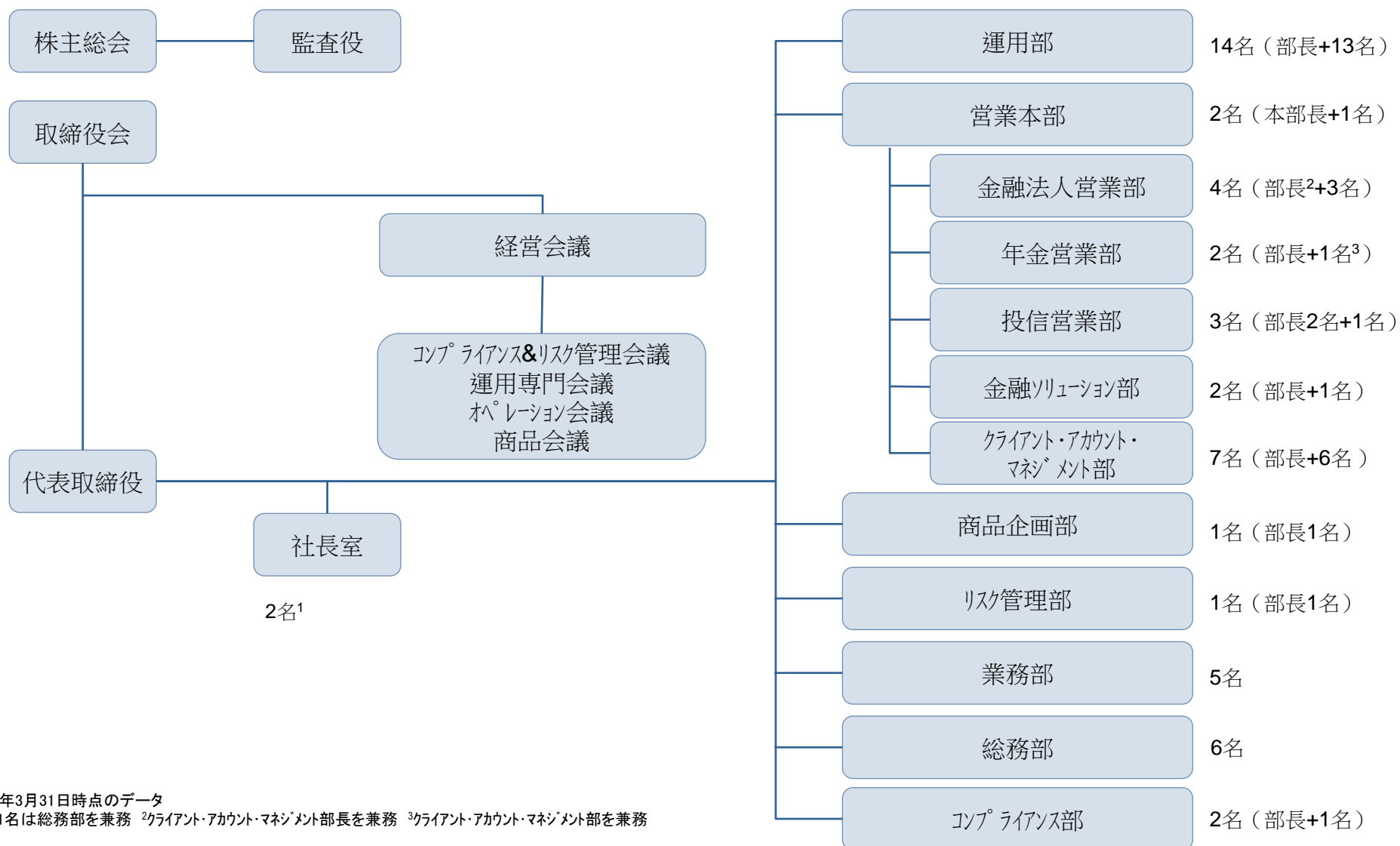
東京拠点概要

- ▶ 商号: アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
- ▶ 住所: 東京都港区六本木1丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー19階
- ▶ 沿革:
 - 平成16年4月 RCMジャパン株式会社として設立
 - 平成18年2月 投資一任業認可取得
 - 平成19年9月 金融商品取引業者(投資助言・代理業、投資運用業)登録
 - 平成24年10月 アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社に商号変更
 - 平成28年9月 第二種金融商品取引業 登録
- ▶ 資本金: 2億 3,420万円
- ▶ 株主: アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー(100%)
- ▶ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号
- ▶ 加入協会:
 - 一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入
 - 一般社団法人 投資信託協会 加入
- ▶ 取締役、監査役:

代表取締役	小橋 慶和
取締役	寺尾 和之
取締役	水谷 準
取締役(非常勤)	スティーブン・イブ
取締役(非常勤)	ダニエル・レーマン
監査役	前田 良治

東京拠点組織体制

役職員数: 52名



2019年3月31日時点のデータ

¹うち1名は総務部を兼務 ²クライアント・アカウント・マネジメント部長を兼務 ³クライアント・アカウント・マネジメント部を兼務

東京拠点サポート内容

- ❖ 日本のお客様からの様々なご要望に対応すべく、グローバルに所在する運用拠点と円滑に連携します。
- ❖ 英語による運用チームとの会議や英語の各種レポートを適宜、日本語に通訳・翻訳します。
- ❖ オペレーション等は各拠点と協働することで、異例事態が発生した場合には迅速に対処します。

【投資実行まで】

1. 必要に応じてプレゼンテーションの抄訳、および日本語による戦略説明
2. 運用チームとの会議時の通訳
3. デュー・ディリジェンスに必要なデータや資料の手配
4. オンサイトによるデュー・ディリジェンスの設定・準備、および現地への同行、面談への同席
5. 柔軟なスキーム構築(国内籍投信、為替・金利ヘッジ)の提案

【投資実行から】

1. 日本のお客様特有のニーズを把握し、期中管理事務をカスタマイズ対応
2. 相対的に頻度の高い運用チーム来日による定期的なフォローアップ
3. 市場環境や投資行動等に関する臨時的な照会事項対応や電話会議設定
4. 定例的なオンサイトによるデュー・ディリジェンスの開催
5. 国内規制や内規変更にかかる期中スキーム変更等の提案

主要戦略の ご紹介

03

運用戦略のご紹介(一部抜粋)

対象地域	債券戦略	マルチアセット戦略	オルタナティブ		株式戦略
			リキッド	イリキッド	
グローバル	アドバンスド債券(クオンツ)	DMAP: モメンタム戦略 (ダイナミック・マルチ・アセット・プラス) MARP: リスクプレミアム戦略 (マルチ・アセット・リスク・プレミアム)	マルチ・アセット・ロング・ショート MARP (マルチ・アセット・リスク・プレミアム)		ベストスタイル(クオンツ) システマティック(クオンツ) ESG関連
日本			日本株ロング・ショート (ダブルアルファ)		大型(集中投資) 中小型
米国	投資適格社債 短期投資適格債 米国債券総合 (コア・コアプラス) 短期ハイ・イールド債		ストラクチャード・アルファ ストラクチャード・リターン	プライベート・プレースメント(私募債) 米国プライベート・デット インフラ・デット(コア: 米欧) インフラ・エクイティ	米国グロース 欧州グロース 米国バリュー
欧州	投資適格社債 ハイ・イールド債 ESG(SRI社債) グリーンボンド		欧州株・ドイツ株 ロング・ショート	インフラ・デット (コア: 米欧/レジリエント: 欧州) インフラ・エクイティ ダイレクト・レンディング トレード・ファイナンス	ベストスタイル(クオンツ) システマティック(クオンツ) テック関連株
アジア・新興諸国	アジア債券 (投資適格・ハイ・イールド) EMアドバンスド債券 EM短期債券			インフラ・デット (ラテンアメリカ) プライベート・デット	アジア地域株 (中国A株等) ベストスタイル(クオンツ) システマティック(クオンツ)

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・グループ会社*(以下、当社)が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社が必ずしもその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 作成会社と当社はAllianz SE傘下のグループ会社です。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における資料作成会社の見解であり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります、また、予告なく変更される場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。

* ここでは、以下のグループ会社を総称しています。

Allianz Global Investors Japan Co., Ltd.
Allianz Global Investors U.S. LLC
Allianz Global Investors GmbH
Allianz Global Investors Asia Pacific Ltd.
Allianz Global Investors Singapore Ltd.

投資顧問契約および投資一任契約のお客様は以下をお読みください。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関（信託銀行等）を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関（信託銀行等）が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させて頂きますが、対象とする金融商品及び金融派生商品（デリバティブ取引等）は、様々な指標等の変動の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第424号
 一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
 一般社団法人投資信託協会に加入

Active is:

Allianz Global Investors